

創業家代表・経営陣・日本郵便によるトナミホールディングスのMBOについて

- トナミホールディングスのマネジメント・バイアウト(MBO)を企図し、創業家代表・経営陣・日本郵便の共同コンソーシアムによる公開買付け及びスクイズアウトを通じた非上場化を実施いたします。これを通じ、トナミホールディングスと日本郵便との協業による更なる付加価値創出を目指します。

物流業界を取り巻く環境

- 人材不足
- 人件費上昇
- 原料・燃料費の高騰
- 低積載率
- 物流量の減少
- 環境問題

MBOに至った経緯

- 環境変化の中で上場を維持するメリットが相対的に低下しており、**経営陣及び創業家による非上場化の道を模索**
- 更なる成長の為には**外部の経営資源も活用することが必須と判断**

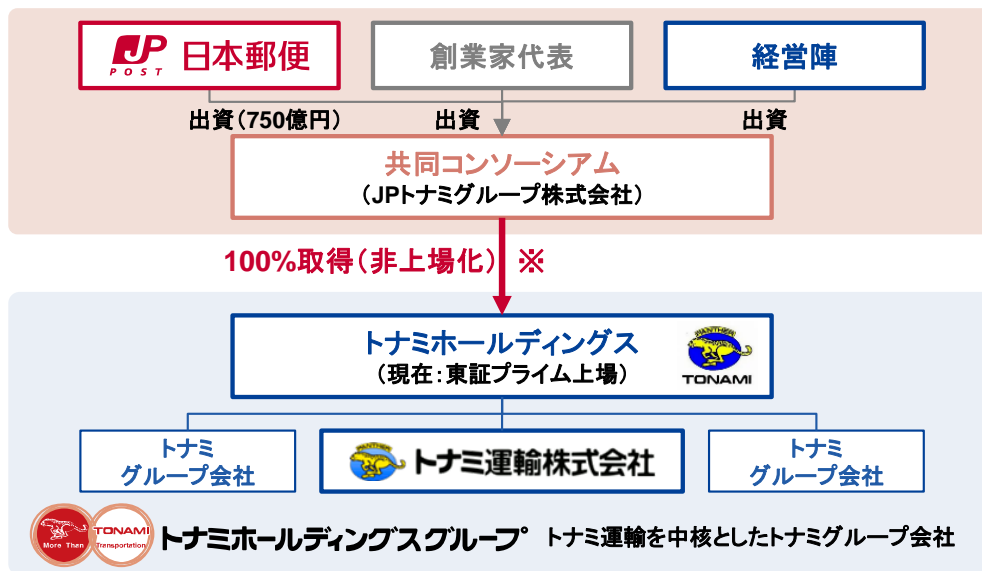
定期的な意見交換等を継続的に実施
双方にとって最適なパートナーであるという認識に至る

本件の戦略的意義

物流工程	国際物流		国内企業間物流		国内
	コントラクト	フォワーディング	コントラクト	エクスプレス・輸送	ラストワンマイル
グループ物流機能	TOLL		JPロジスティクス		日本郵便
売上	4,488億円		617億円		19,138億円
			トナミホールディングスグループ		

高品質な物流サービス提供のための共創プラットフォームの実現

案件ストラクチャー



買収後の経営

- 創業家代表・経営陣は本件後もトナミホールディングスグループの経営に継続してあたり、執行機能に変更はなし
- 一連の取引を経て、トナミホールディングスは日本郵便の連結子会社に

※ TOB価格10,200円での100%株式取得金額は総額926億円(うち日本郵便の出資750億円(予定)の他、銀行借入約200億円等)